

果樹カメムシ類の発生予測

令和8年7月27日
静岡県病害虫防除所

●8月の発生予測

- ・県全体で**平年よりやや多い**と予想される。

●果樹園への飛来予測日（詳細は次頁参照）

- ・**早い場所**では**8/26**頃から、各地域では**9/3～7**頃から飛来が始まると予想される。

●令和8年(2026年)における発生状況（7/27時点）

- ・**7月の発生は平年より少なく、果樹園への飛来も見られていない。**ただし、7月下旬以降の新成虫発生に伴い、今後はヒノキで増殖したカメムシ類の**大量飛来も懸念されるため、最大限の警戒を払う。**
- ・チャバネアオカメムシ越冬量／落葉1㎡は、0.2頭（平年1.2頭）と**平年より少なかった。**
- ・県内4か所の予察灯における7月の合計誘殺数は、**平年より少なかった。**
- ・県内6か所のフェロモントラップにおける7月の合計誘殺数は、**平年より少なかった。**
- ・ヒノキ球果の着果量は、**平年より多かった。**（着果量が多いと新成虫の増殖は助長）
- ・7月のヒノキ球果における寄生数は、**平年より多かった。**
- ・7月のヒノキ球果におけるカメムシ吸汁痕数／球果は**平年より少なかった。**（吸汁痕数が多いと飛来が早まる）

カメムシ類の果樹園への飛来予測日 (ヒノキからの離脱予測日)

ヒノキ球果におけるカメムシ吸汁痕数と離脱予測日

地域	吸汁痕数／球果	起点日 (球果採集日)	離脱予測日
東部	1.2	7/17	9/4
中部	0.4	7/14	9/4
西部	0.4	7/13~17	9/3~7
県平均	0.6	7/15	9/5
吸汁痕数が最も多い地点	3.8	7/17	8/26
平年値	1.1	7/13~17	9/1~5

注) 堤(2003)による予測式 $y=54.17-3.776x+0.01937x^2$ をもとに計算

果樹園への飛来予測日

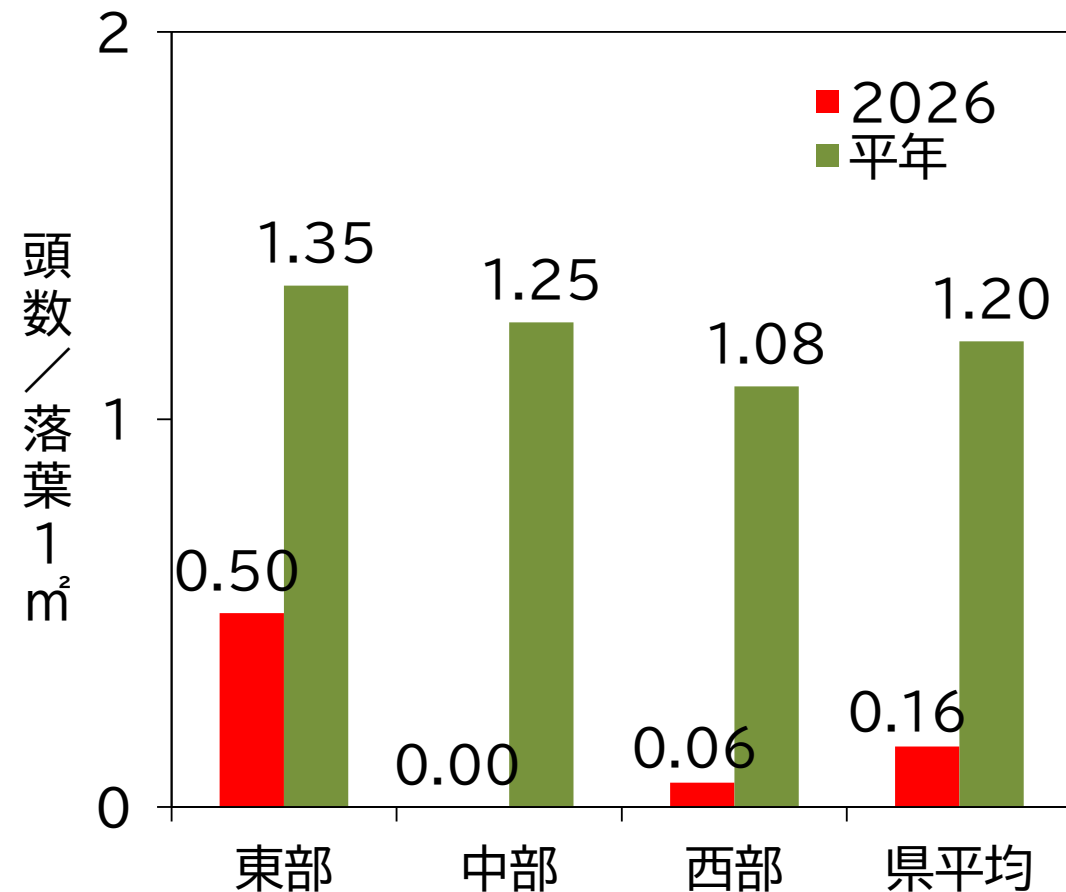
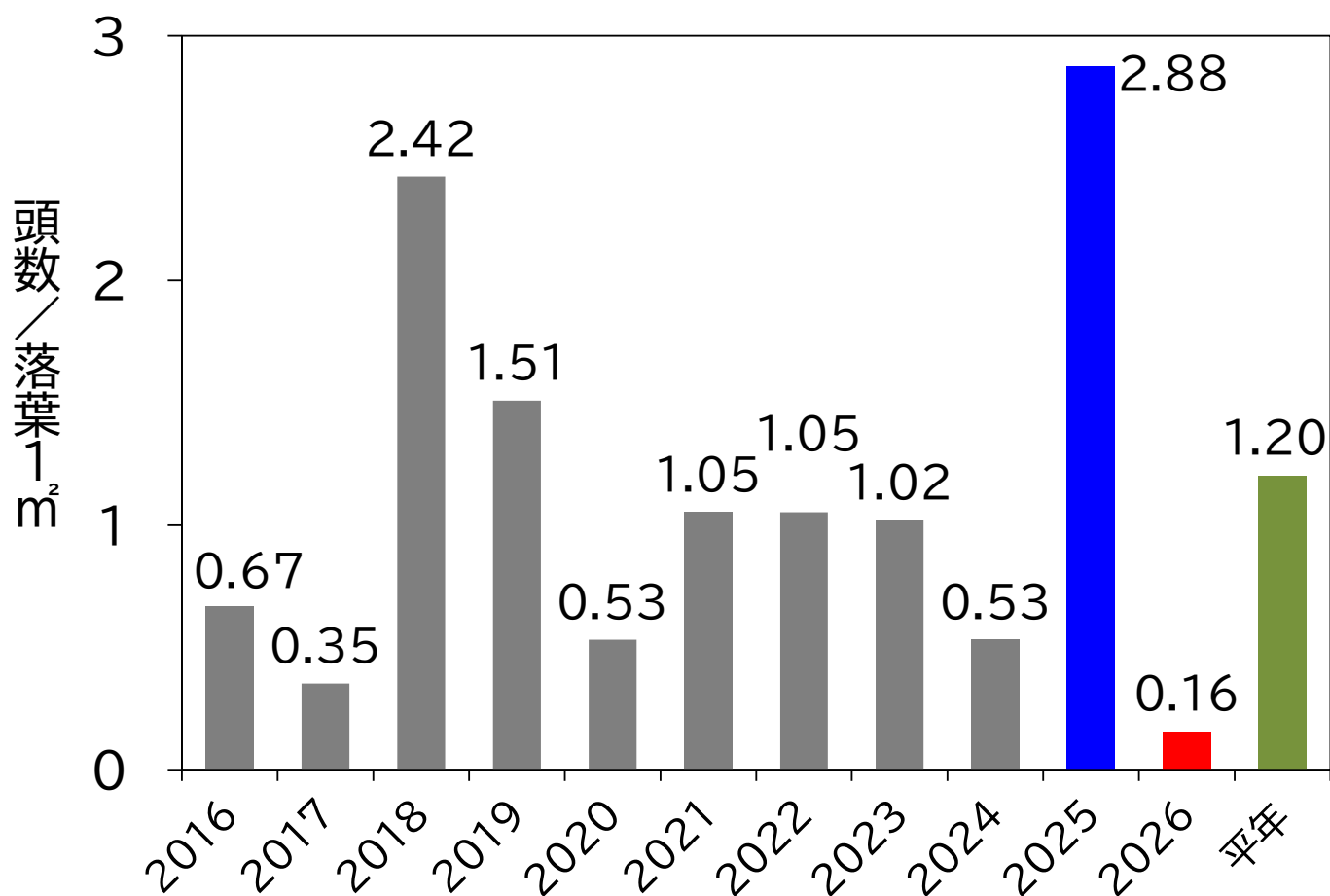
9/3~7 (地域により異なる)

ただし、吸汁痕数が最も多い地点では**8/26**





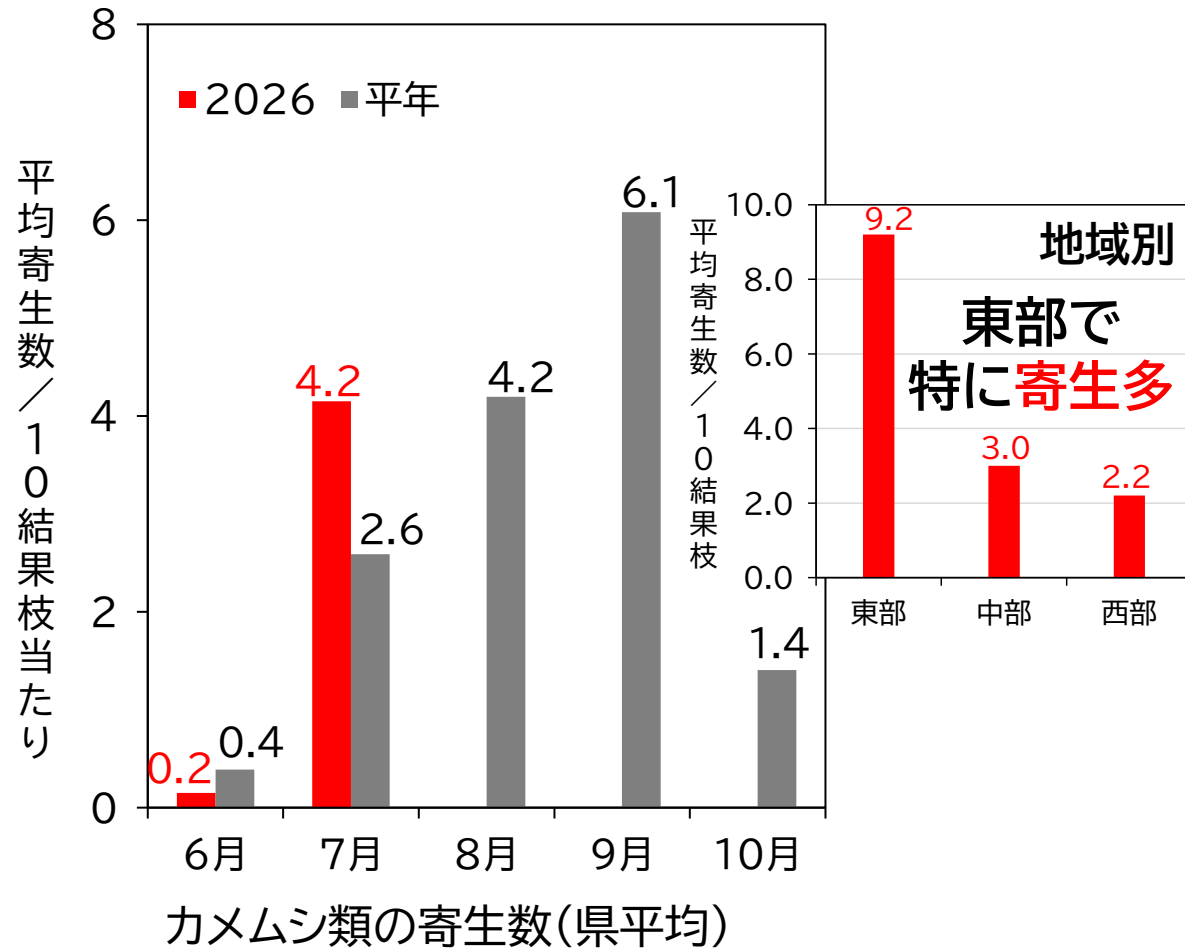
チャバネアオカメムシ越冬量 2026年



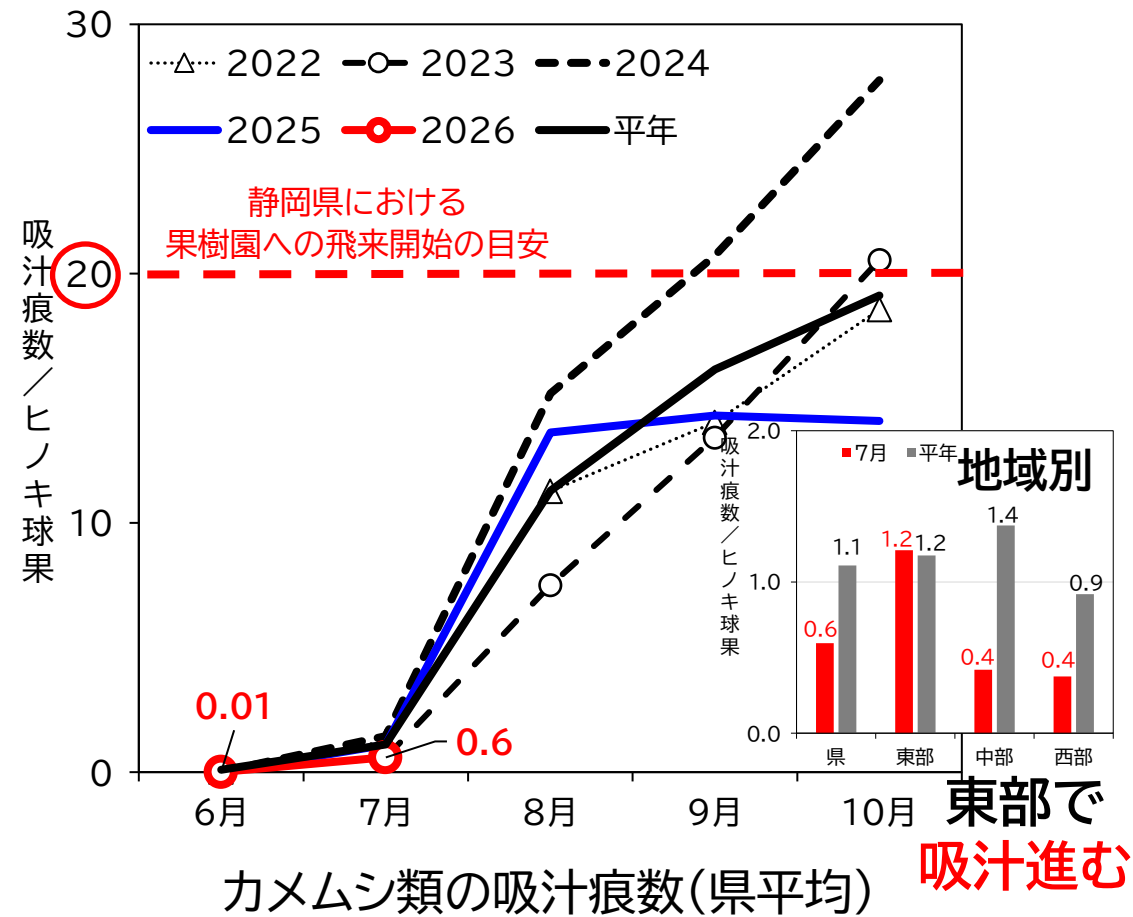
チャバネアオカメムシ越冬量は **平年より少ない**



ヒノキ球果における カメムシ類寄生数とカメムシ類吸汁痕数

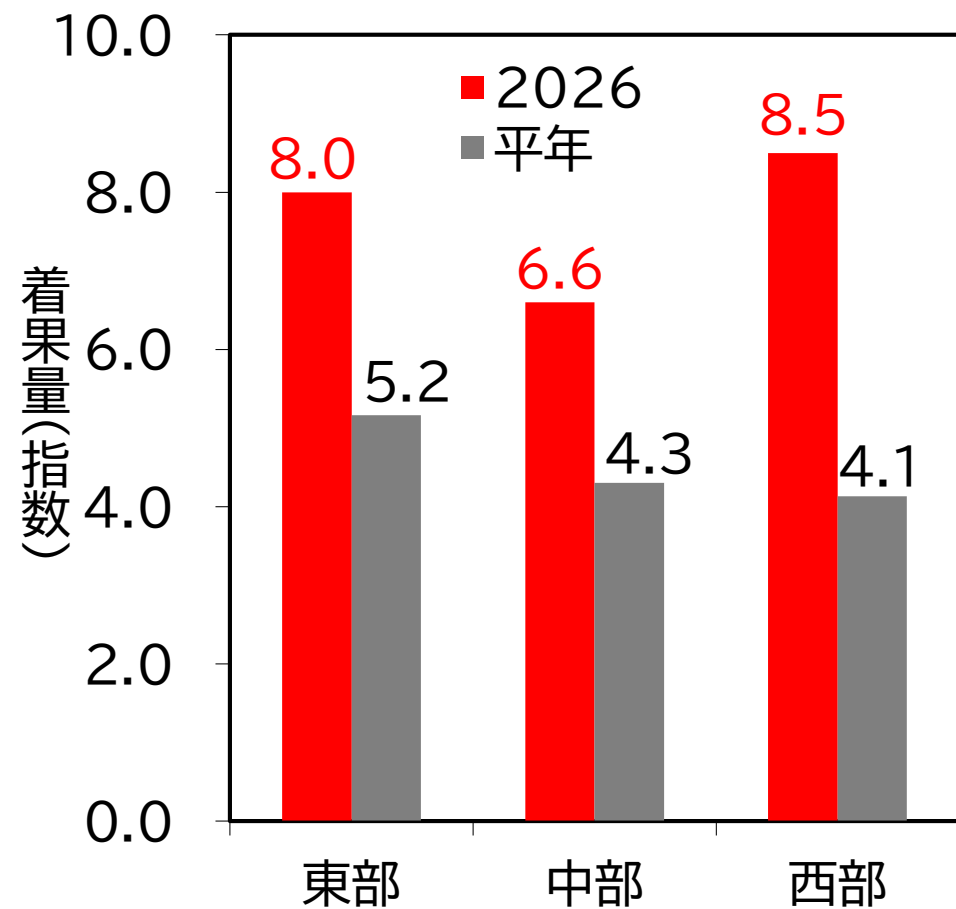
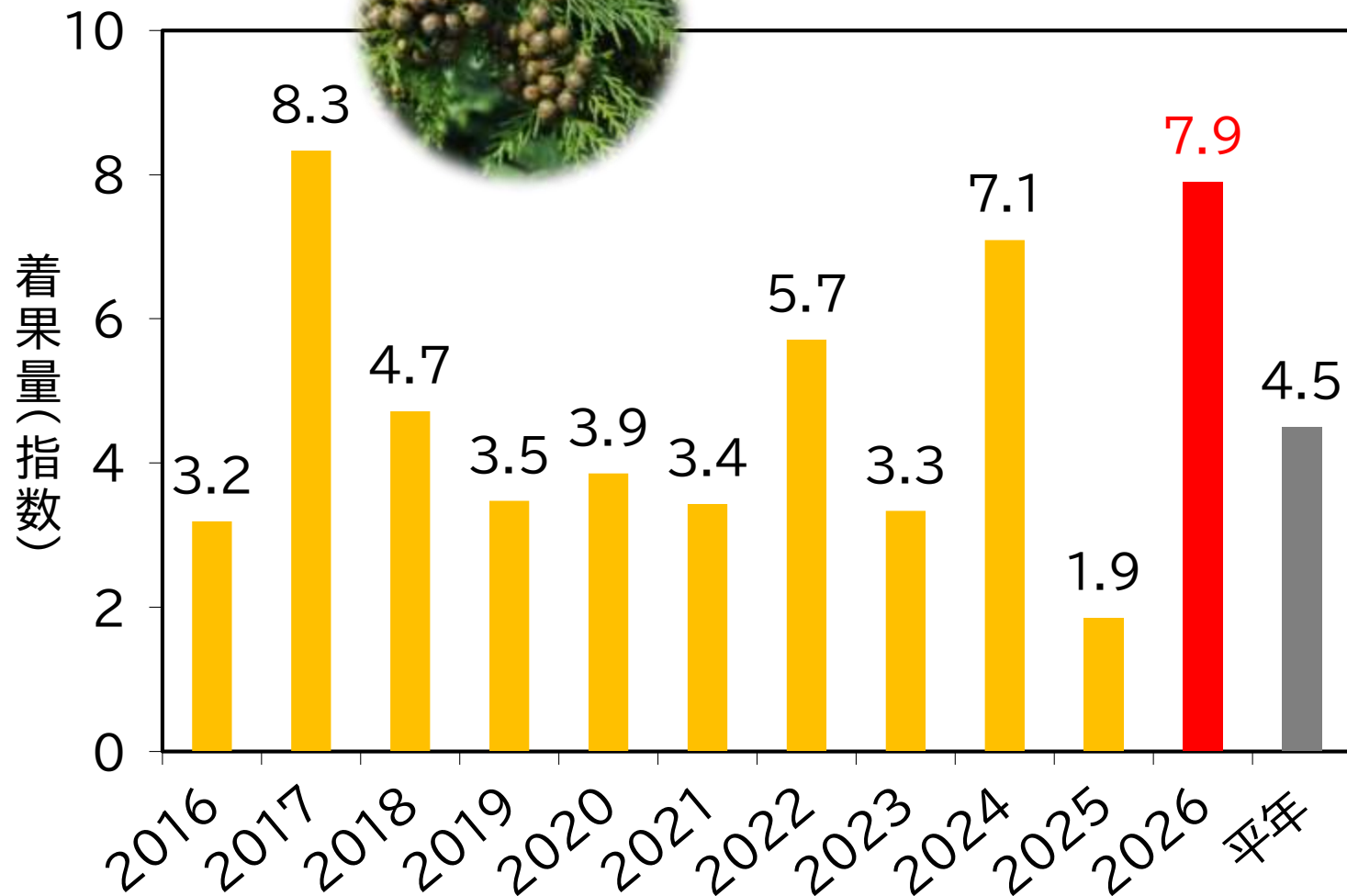


7月中旬における寄生数は4.2頭／10結果枝
(平年2.6頭)と**平年より多かった**



7月中旬における吸汁痕／球果は0.6
(平年1.1)と**平年より少なかった**

ヒノキ球果(実)の着果量



2026年におけるヒノキ着果量は**平年より多い**

(果樹カメムシ類は球果を餌として増殖 → **着果量が多いと新成虫の増殖は助長**)



浜松市浜名区大平

5月から調査開始

Month	Day	Cases
4月	1	0
	2	0
	3	0
	4	0
	5	0
	6	0
5月	1	0
	2	0
	3	100
	4	0
	5	50
	6	0
6月	1	0
	2	0
	3	0
	4	0
	5	150
	6	0
7月	1	0
	2	0
	3	0
	4	0
	5	0
	6	0
8月	1	0
	2	0
	3	0
	4	0
	5	0
	6	0
9月	1	0
	2	0
	3	0
	4	0
	5	0
	6	0
10月	1	0
	2	0
	3	0
	4	0
	5	0
	6	0

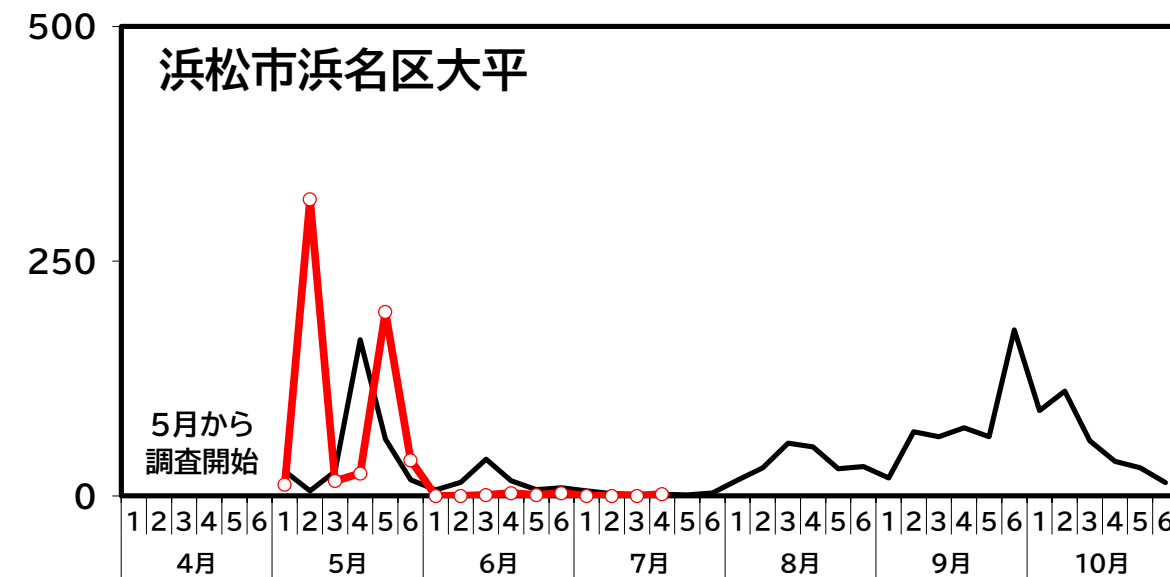
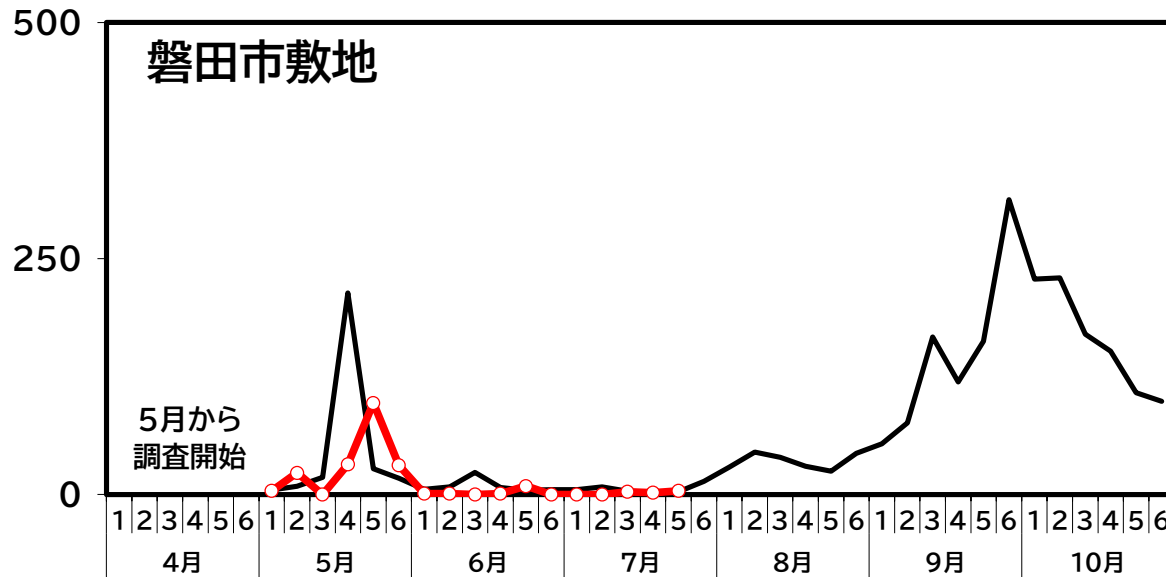
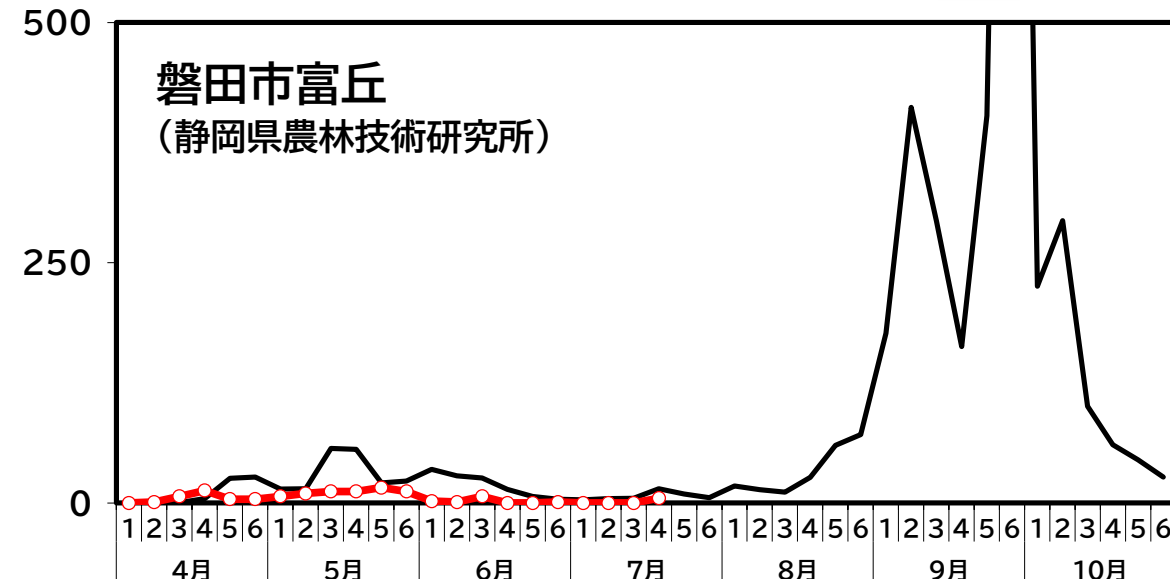
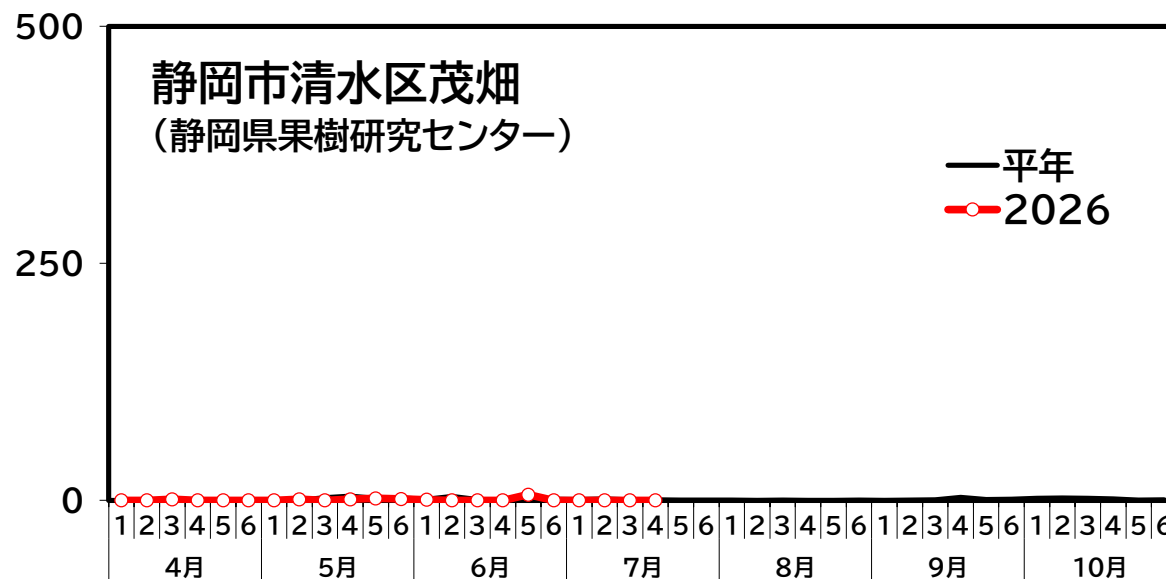


ツヤアオカメムシ 予察灯 2026年



注)最新半旬データは途中経過のため、
次回の更新で数値が変わる可能性があります。

誘殺数／半旬



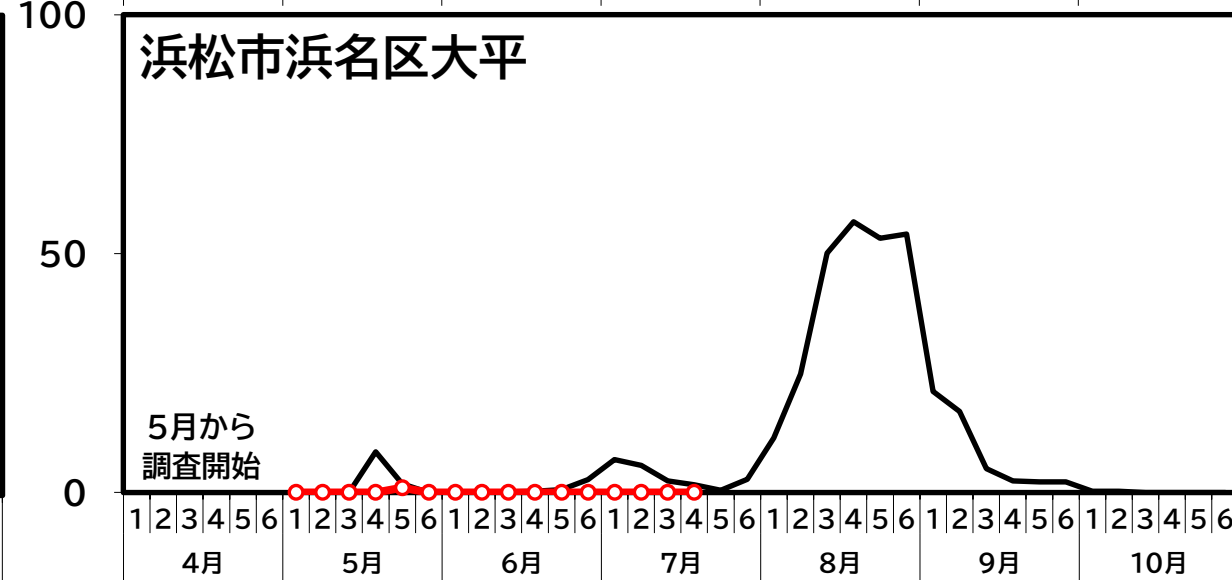
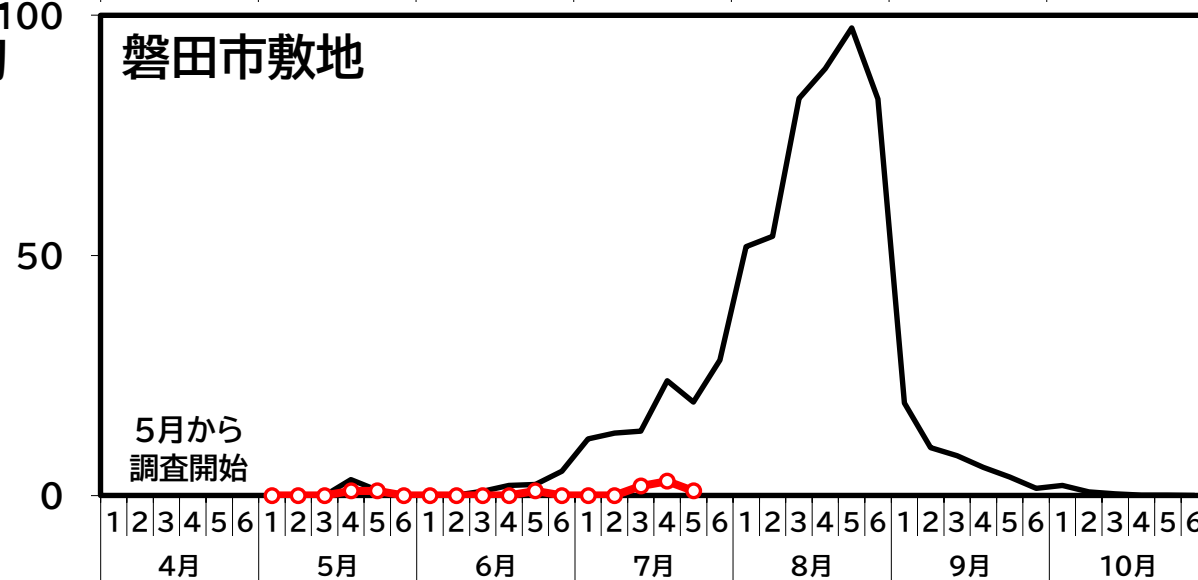
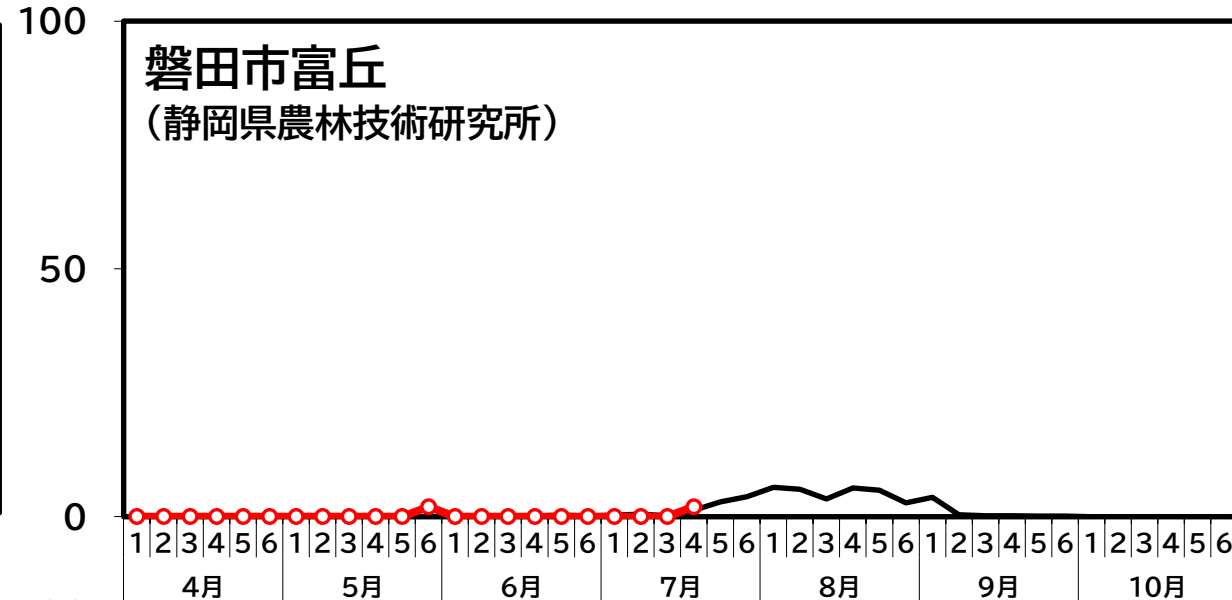
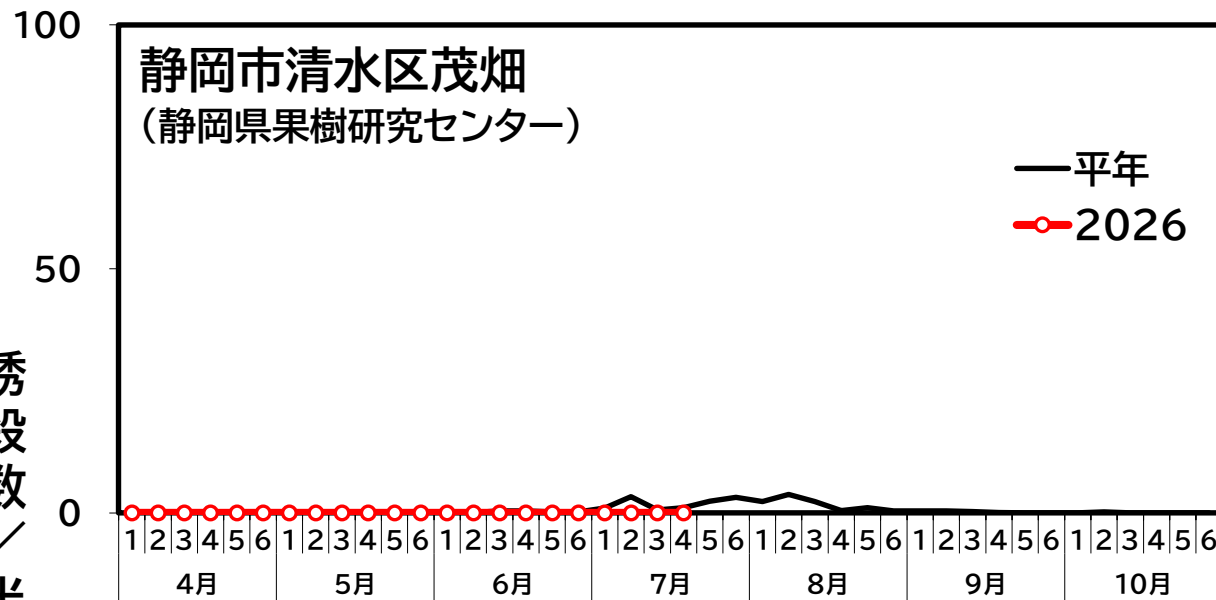


クサギカメムシ 予察灯 2026年



注)最新半旬データは途中経過のため、
次回の更新で数値が変わる可能性があります。

誘殺数／半旬

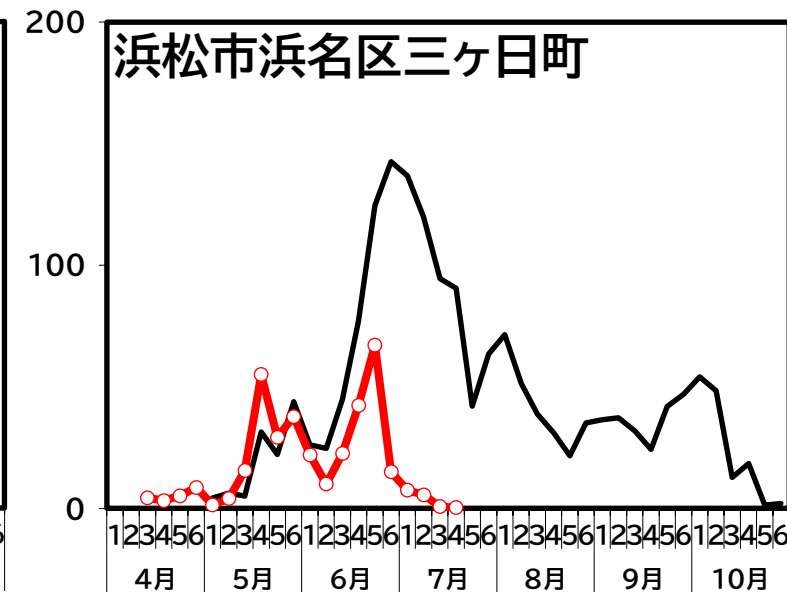
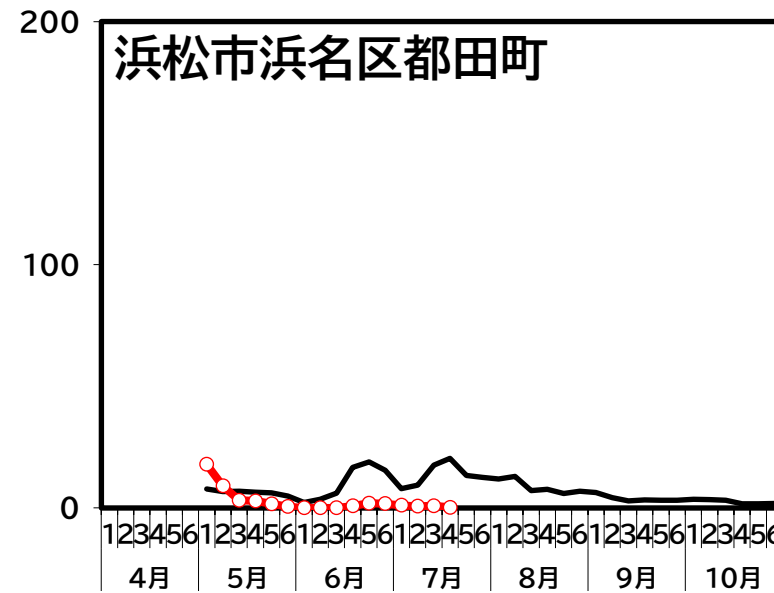
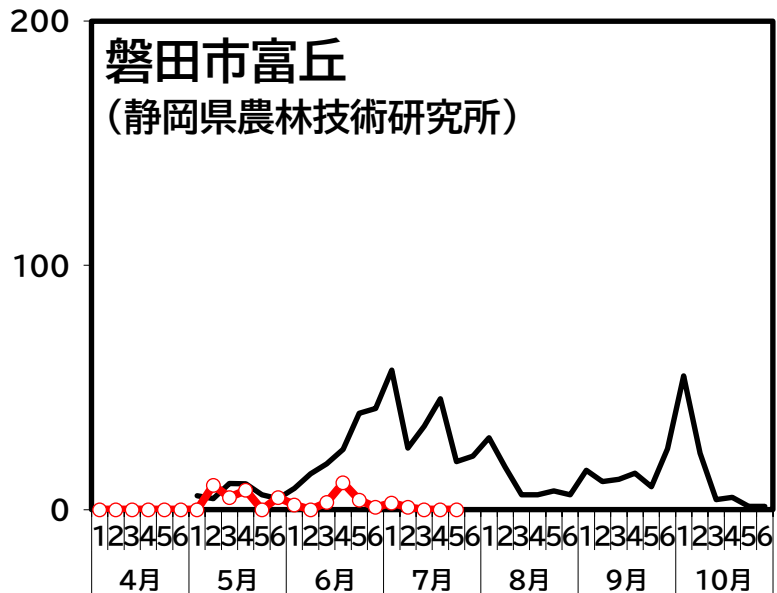
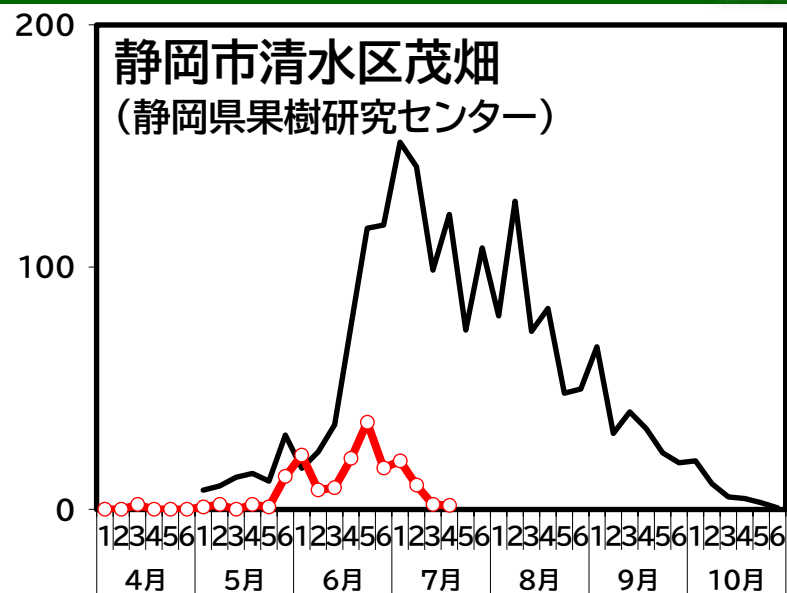
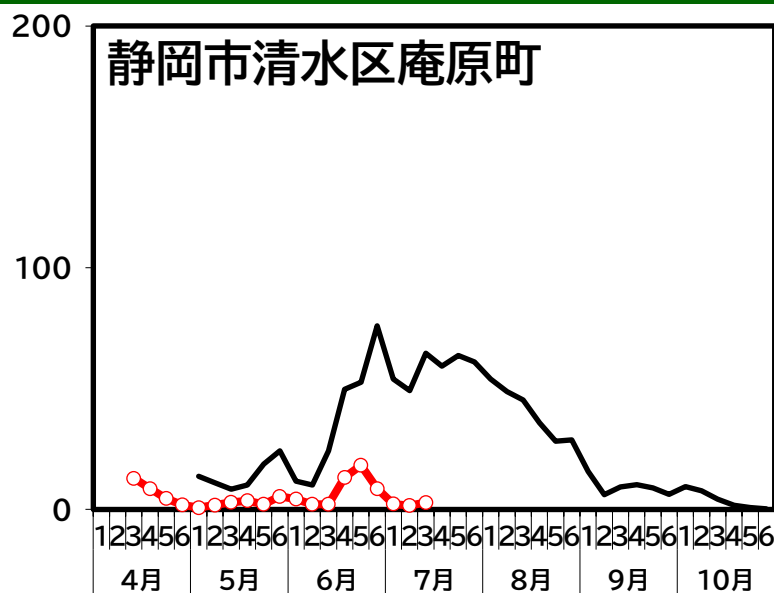
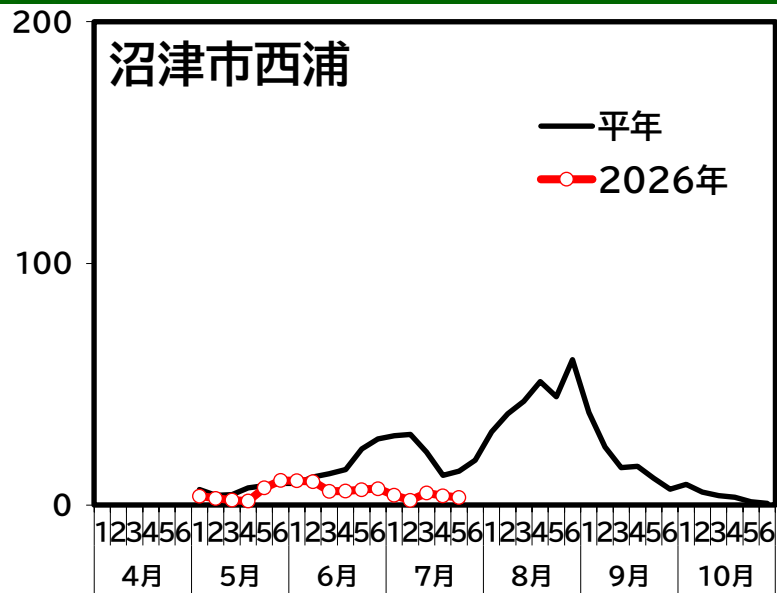


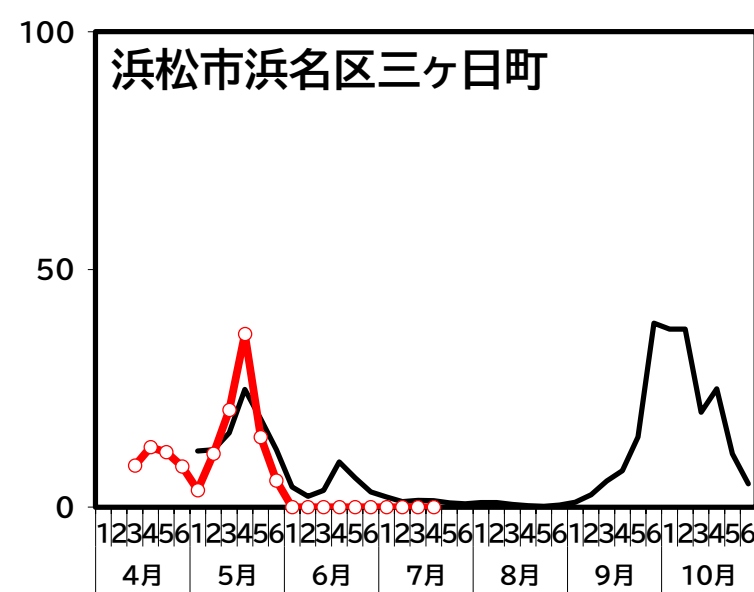
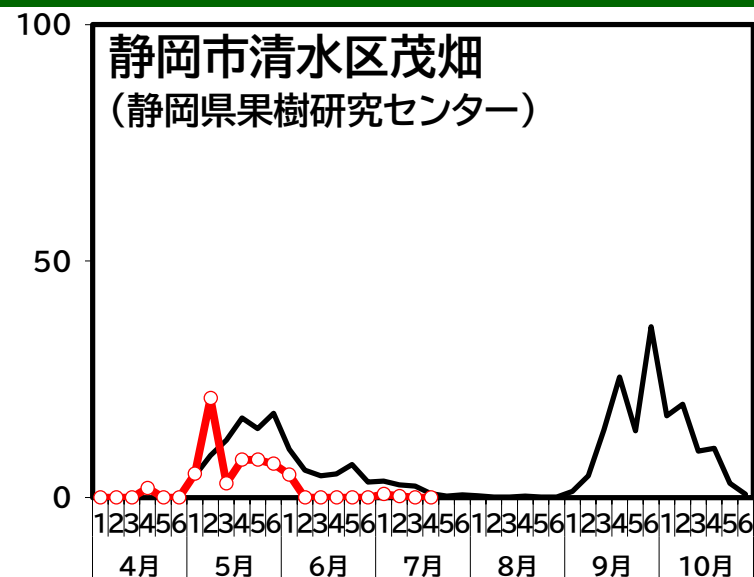
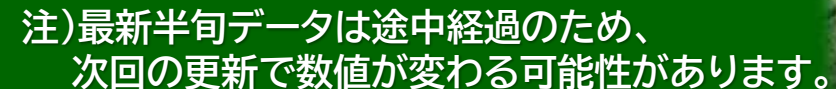
チャバネアオカメムシ フェロモントラップ 2026年

注)最新半旬データは途中経過のため、
次回の更新で数値が変わる可能性があります。



誘殺数／半旬





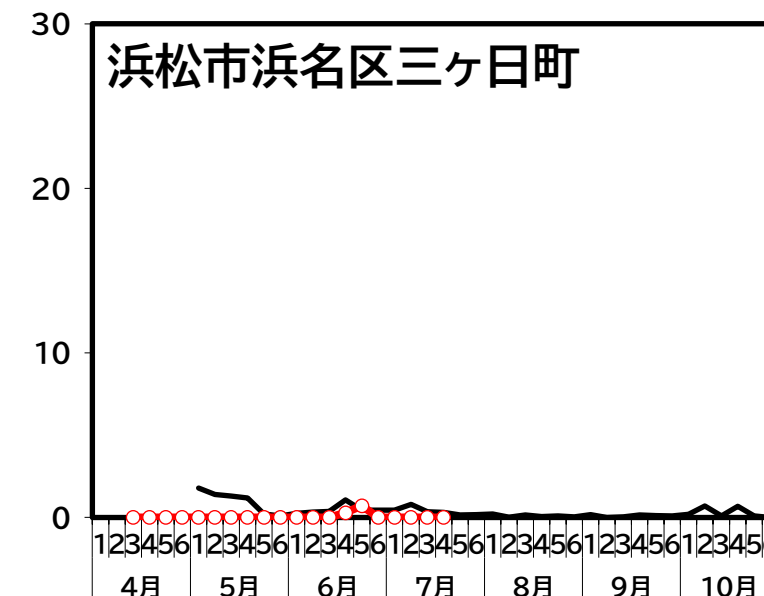
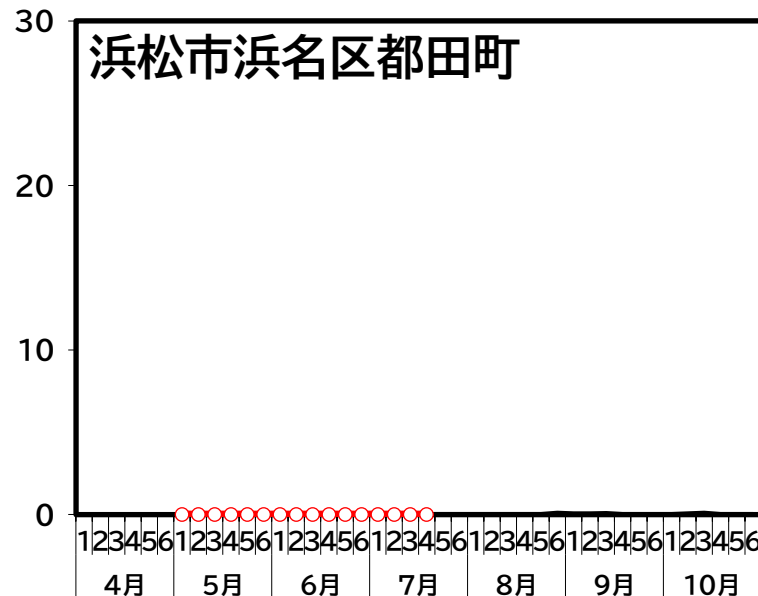
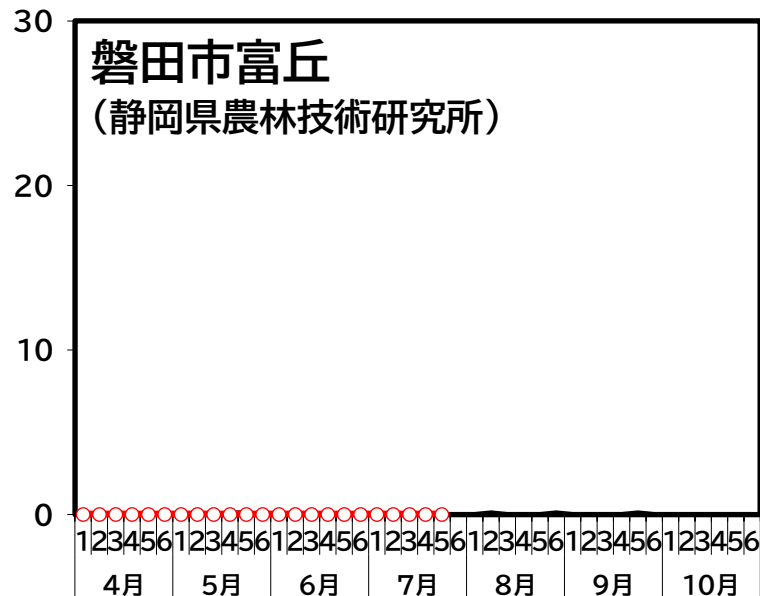
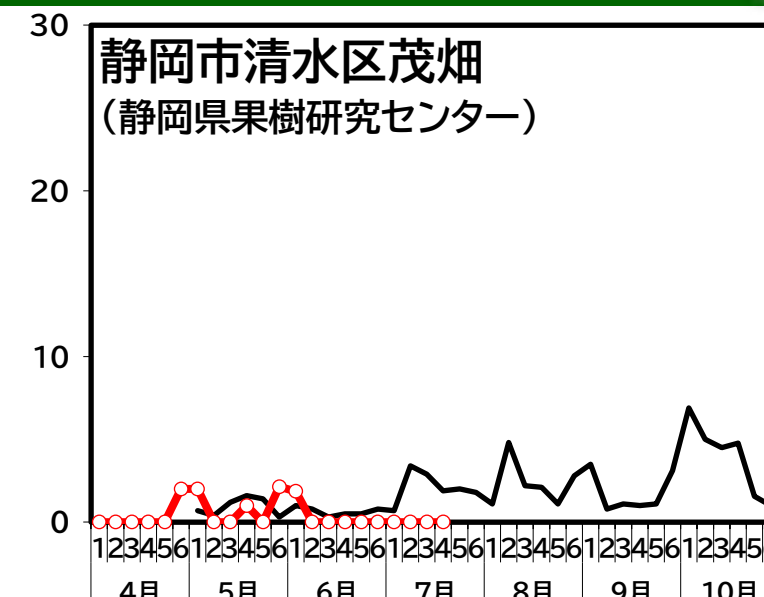
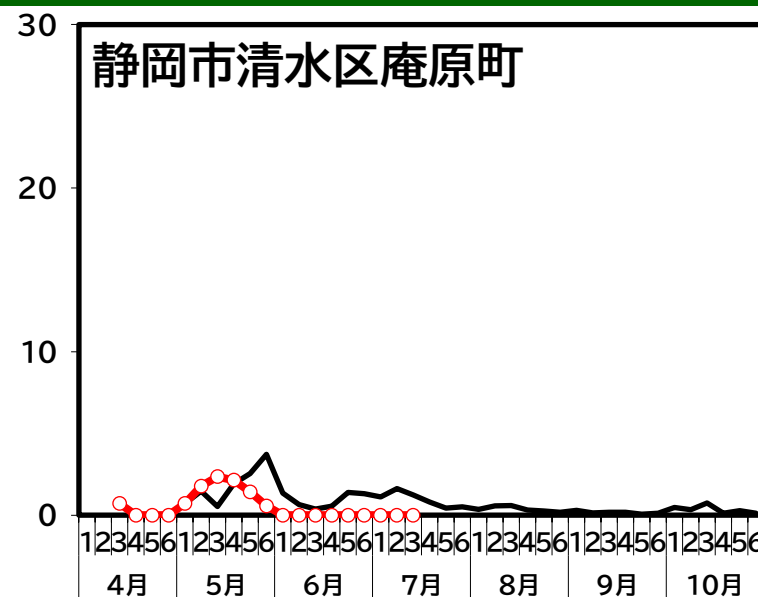
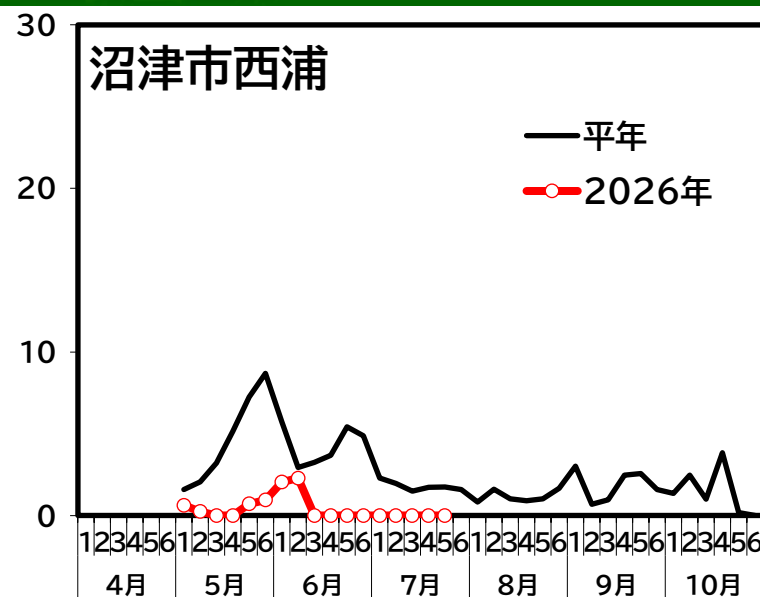


クサギカメムシ フェロモントラップ 2026年



注)最新半旬データは途中経過のため、
次回の更新で数値が変わる可能性があります。

誘殺数／半旬

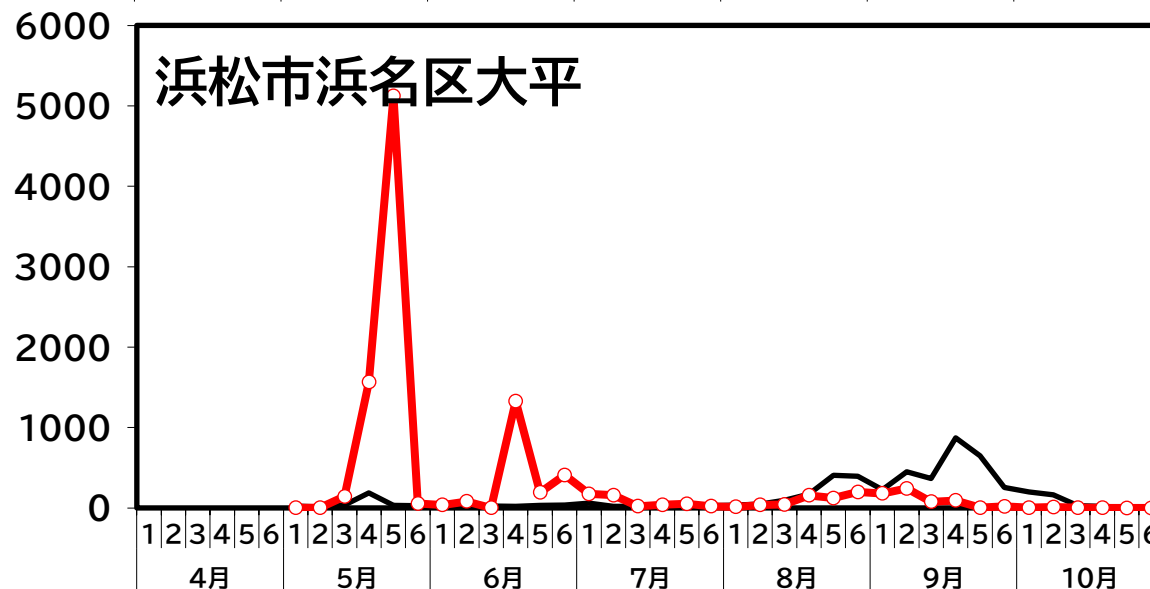
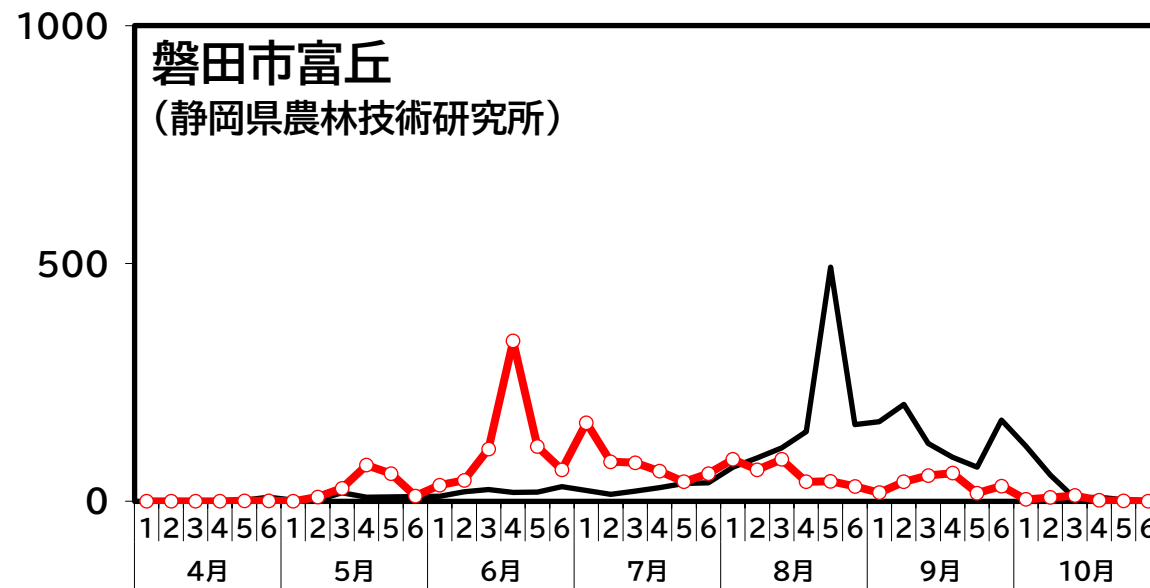


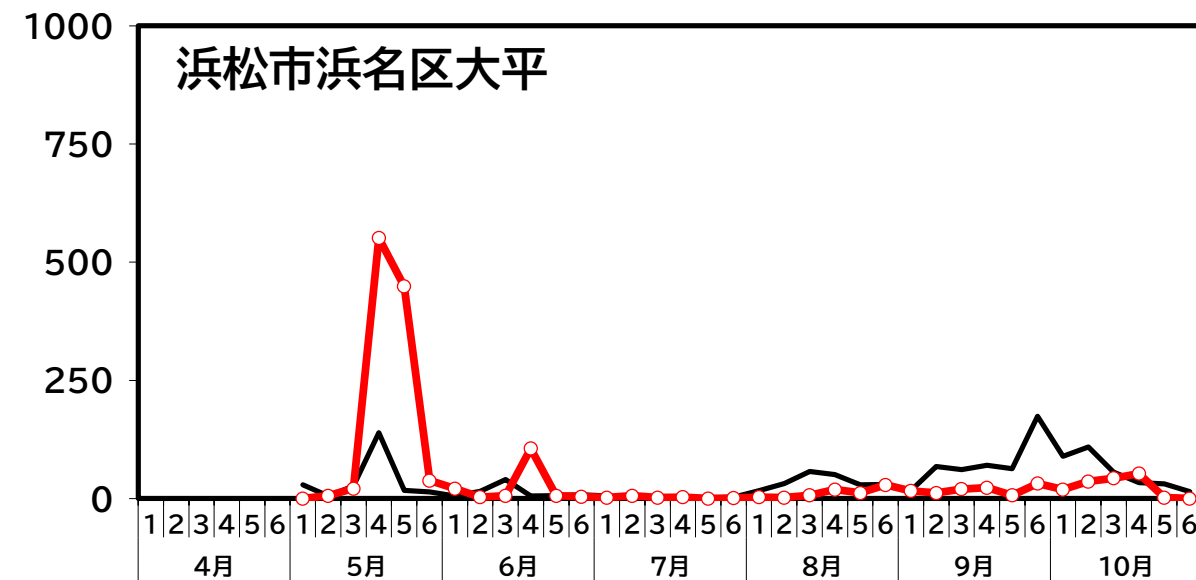
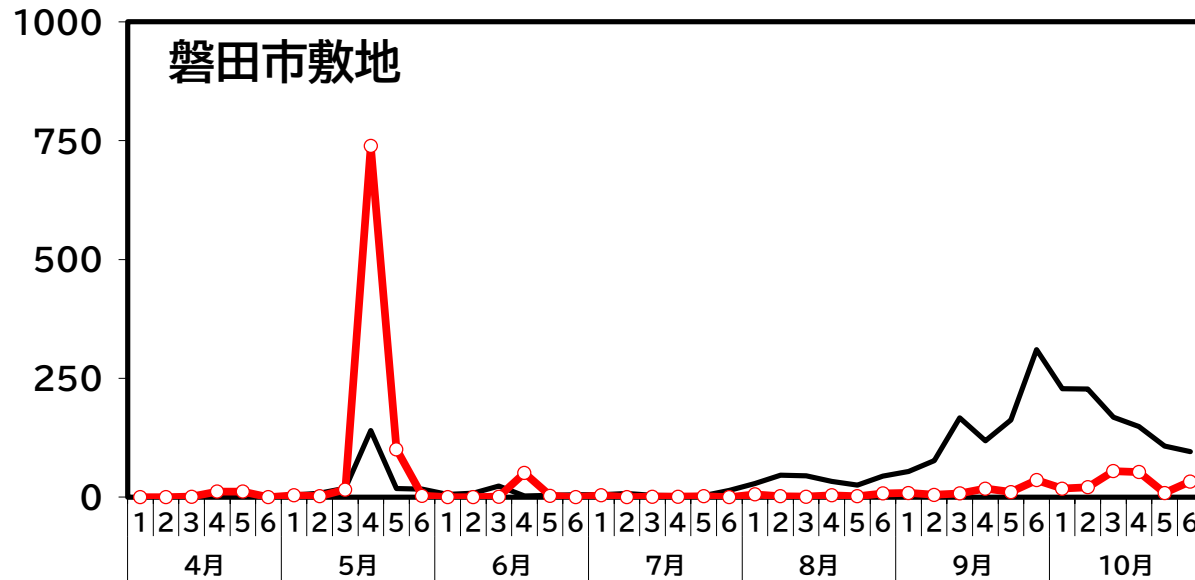
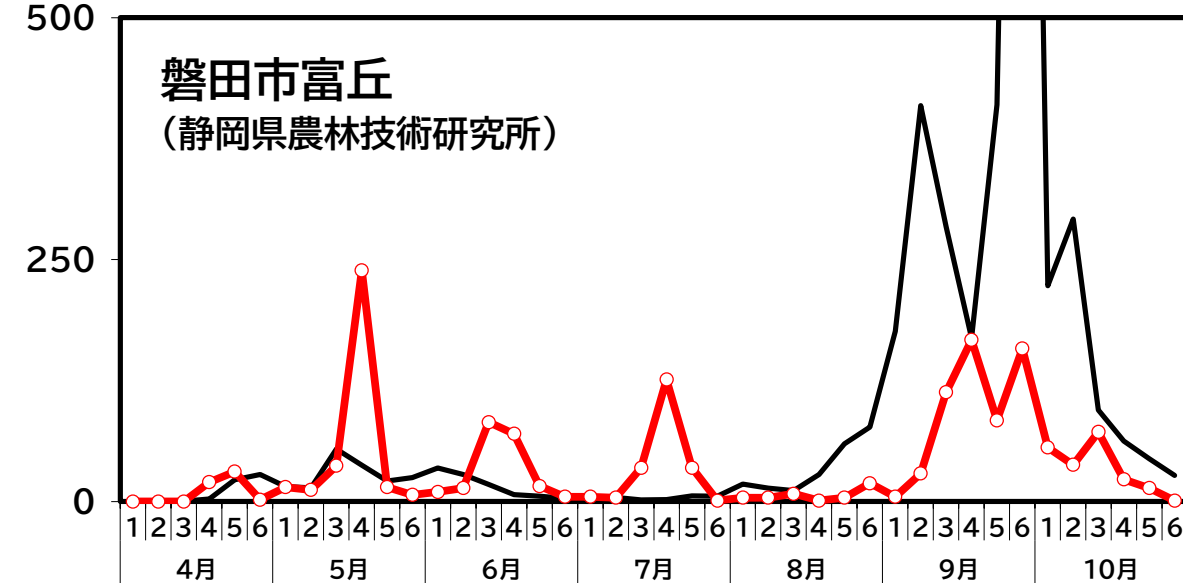
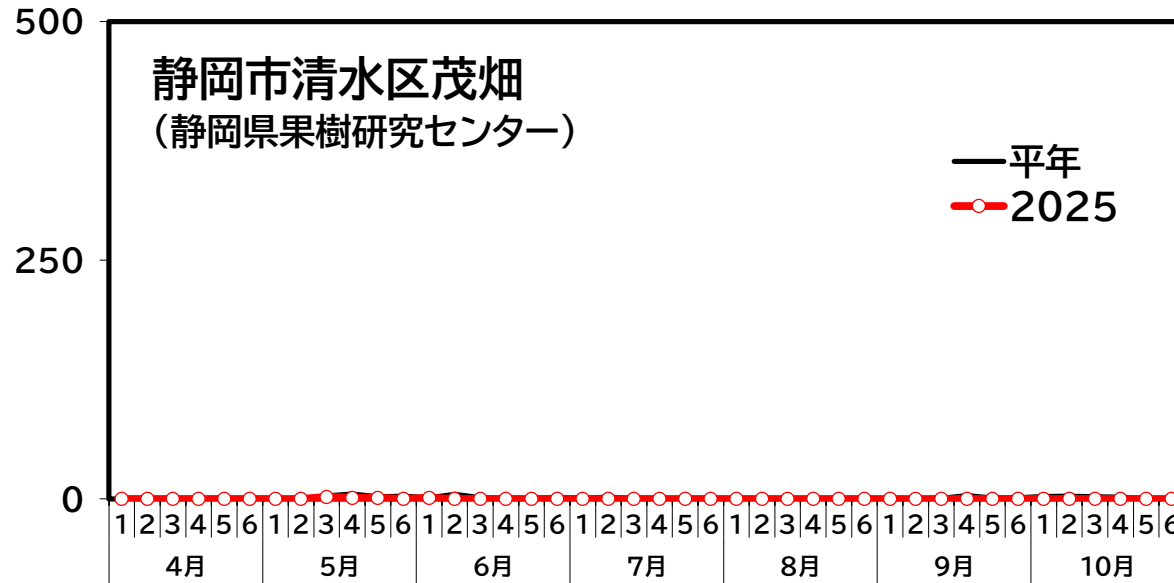
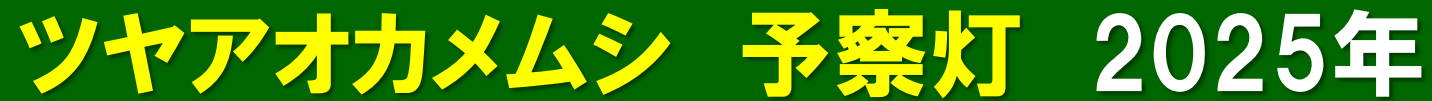
（参 考）

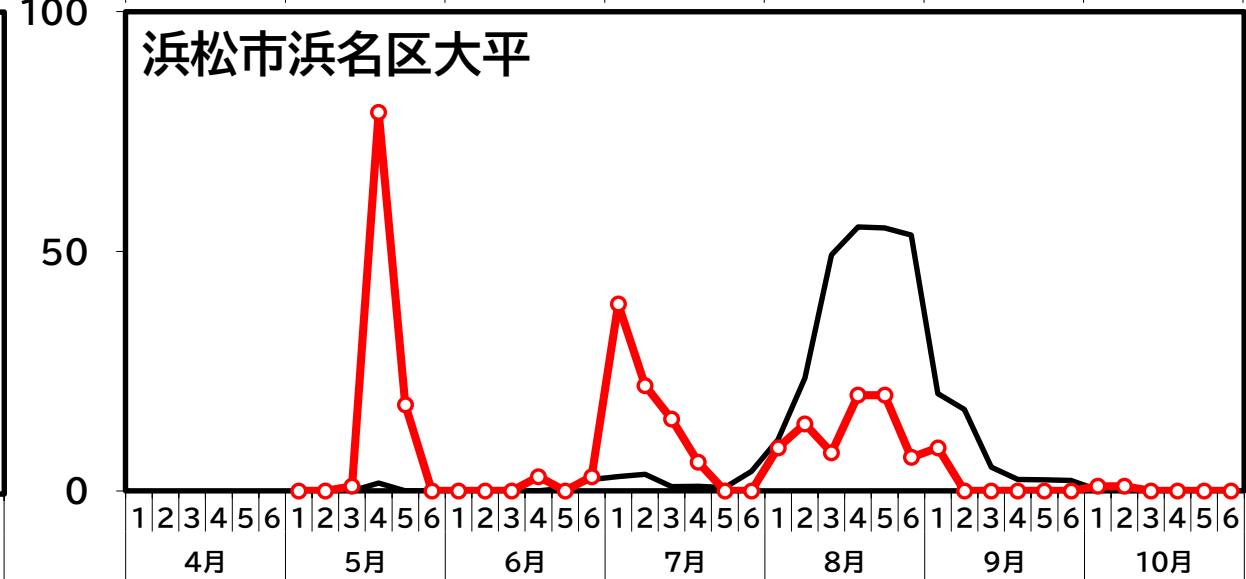
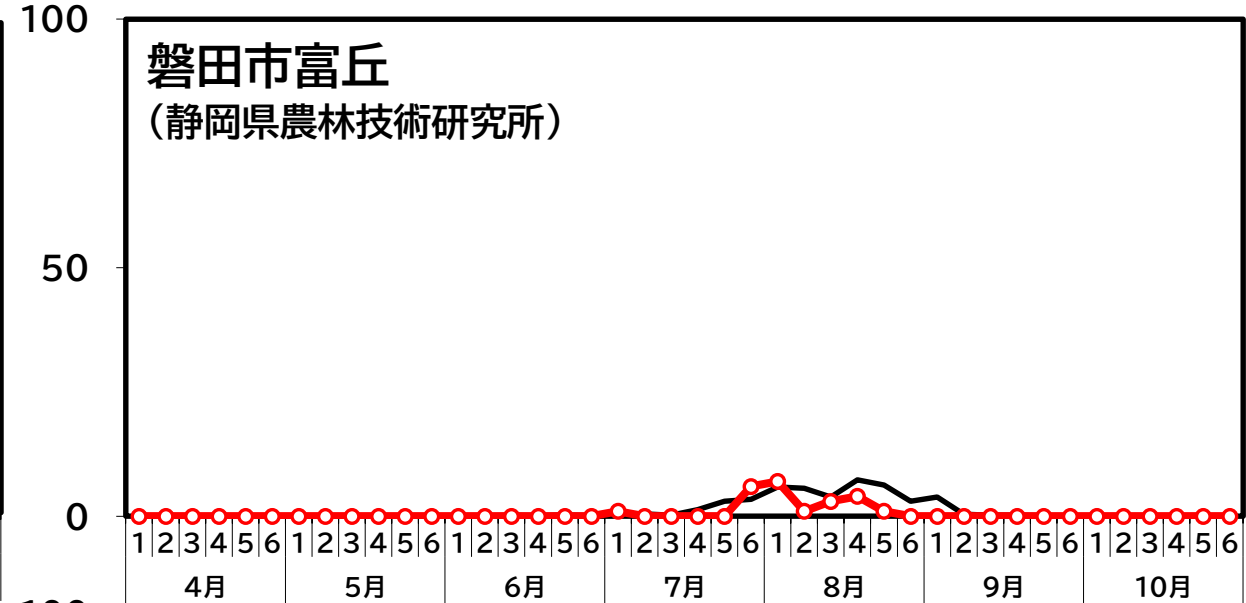
・果樹カメムシ類の発生状況 2025年



注)最新半旬データは途中経過のため、
次回の更新で数値が変わる可能性があります。







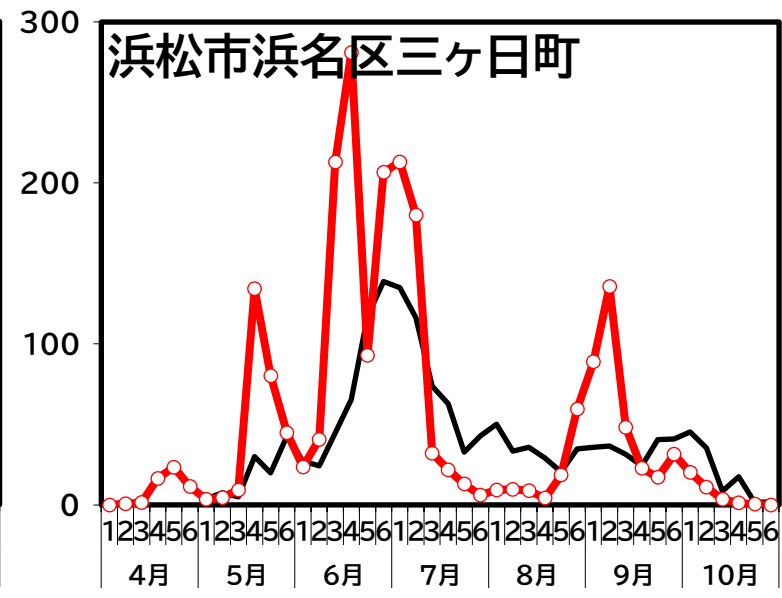
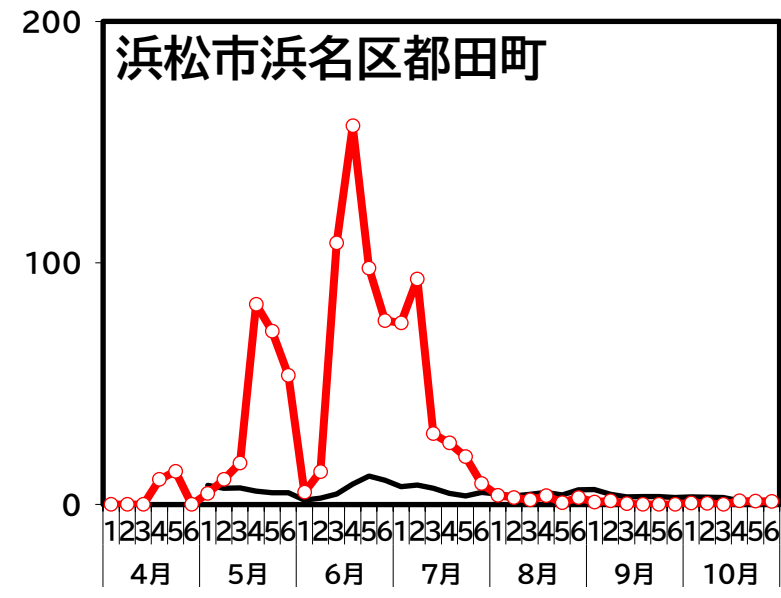
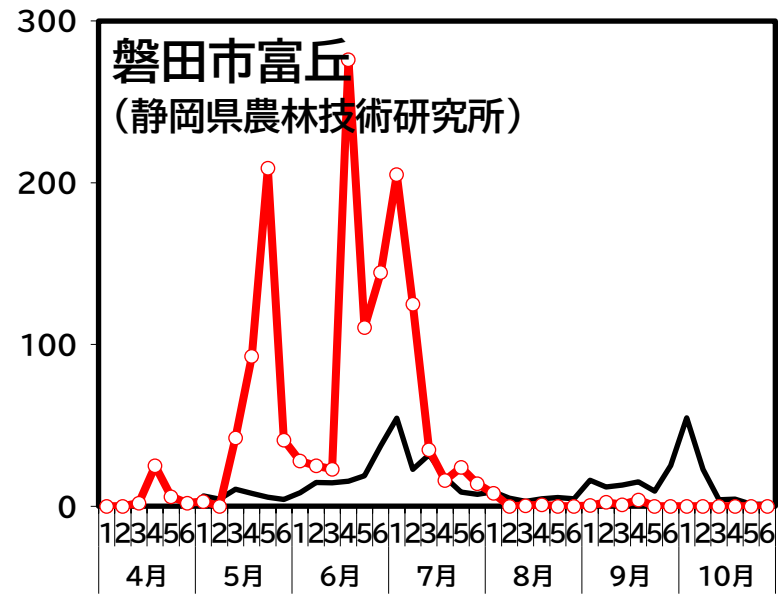
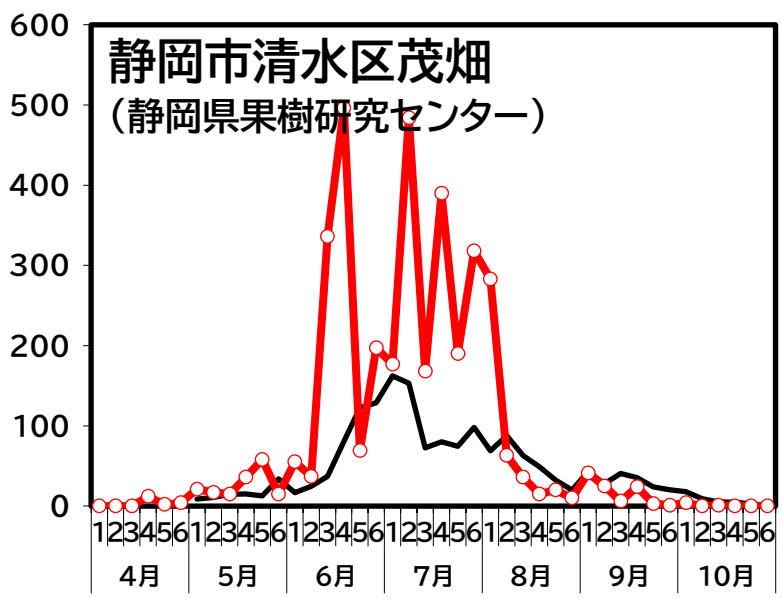
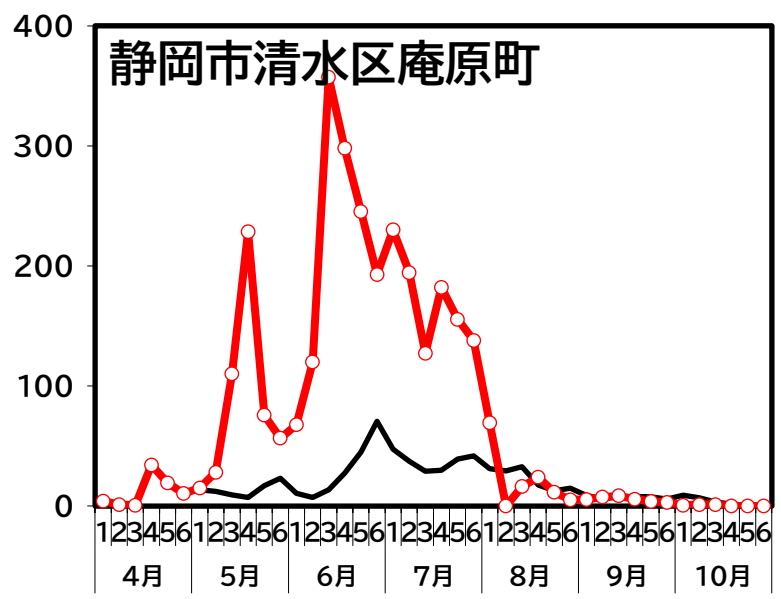
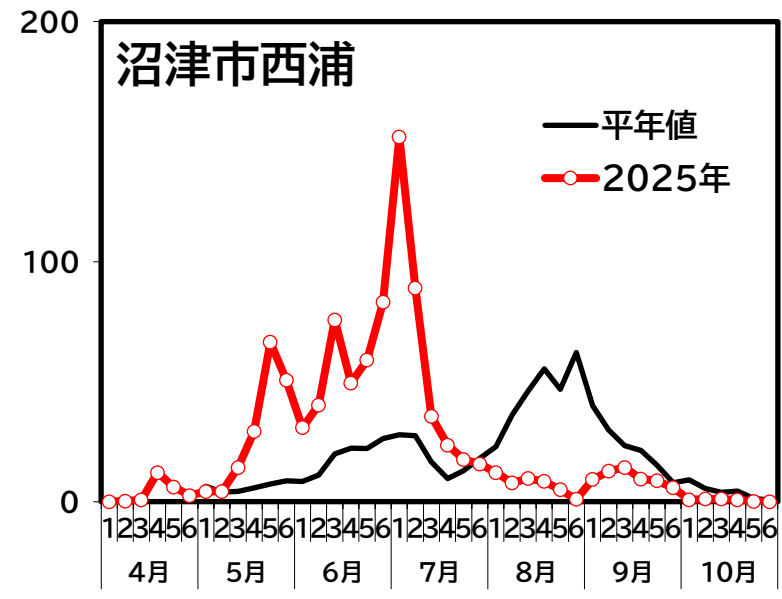


チャバネアオカメムシ フェロモントラップ 2025年



注)最新半旬データは途中経過のため、
次回の更新で数値が変わる可能性があります。

誘殺数／半旬





ツヤアオカメムシ フェロモントラップ 2025年



注)最新半旬データは途中経過のため、
次回の更新で数値が変わる可能性があります。

誘殺数
／
半旬

